

こがねいカフェ ニュースレター

vol.3 2021/10/5



小金井がん哲学外来メディカルカフェ

〒184-0004

東京都小金井市本町3-5-9 小金井福音キリスト教会内

9月のオンラインカフェ

今回は初めての方お一人を含め、7人でのカフェでした。
樋野興夫先生の『いい覚悟で生きる』から「勇ましい高尚なる生涯」の章を読み、感想などを述べ合いました。“生きた証”
“希望”“人の役に立つ”などがキーワードとなりました。

フリートークで紹介されたお話をひとつ。

「抗がん剤は幸福剤です」・・・抗がん剤は、その薬を作った人々や、病院で調合してくれた薬剤師さん、処方してくれたお医者さん、化学療法室の看護師さんなど、関わった多くの人の「あなたのがんが治って幸せになってほしい」という願いが込められている。まさに幸を願うお薬なんだ、ということです。

抗がん剤治療は辛いものですが、このことを知って治療を受けたら、辛さに耐えて前向きになる気持ちが湧いて来そうです。

(9月30日(木)開催)

発行人 荒畑浩美
(同カフェスタッフ)



小金井って、どんなところ？

Part 2

♡市のキャッチコピー

「ほどよく都会。ほどよく田舎。」

♡ごみの分別が細かい！そして
キビシイ。

♡日本標準時を発信している、
情報通信研究機構がある。

♡東京西部指折りのラーメン激
戦区。

♡唯一の悩みはお茶するお店
が少ないこと。



ジャマイカ人になる！？



★先日、グリーフケアについての講演※を聴く機会がありました。グリーフ＝悲しみ、とくに親しい人と死別した時の悲しみに、当事者や周りの人がどう対応していくか、というお話でした。

★当事者の過ごし方として、「楽」につながりそうなことを試してみる。無理をしない。やるべき、やらなきゃは出来るだけやらない。「ジャマイカ人」になる。すなわち、「じゃ、ま、いつか！」と言って、放っておく、ということだそうです。

★グリーフケアじゃなくても、こころをゆるめたいときにジャマイカ人になるのはいいかも知れませんね。

※マギーズ東京 心理療法士 栗原幸江さんの講演

次回のカフェは、10月28日(木)14時よりオンラインで行います。
参加のお申し込みは、shinai.xp@nifty.com までお願いいたします。

後援：一般社団法人がん哲学外来